

## SHINWA WALK 9

### ほうろく地蔵の伝説



野分立つ  
旅のすがらも  
ありがたう  
無事を見守る  
ほうろく地蔵



### 熱田の宮でほうろく売り

### 地蔵のおかげで大繁盛

「熱田神宮南」交差点の南東角近くに地蔵堂があります。そこに石のお地蔵さまがあり、地元の人たちはこの地蔵を「ほうろく地蔵」といって大切に祀っています。今回はこの地蔵伝説です。

昔、繁原村（現在の刈谷市重原町）に太助というほうろく売りのじいさんがいました。ほうろくは、昔、ゴマや豆を煎ったりうすく切ったイモを焼いたりした、平たい土鍋のことです。繁原村はほうろくの産地で、粘土でほうろくを作って焼く電がありました。太助は、電場でほうろくを仕入れては、知立や岡崎へと売りに歩いていました。

ある日のこと、熱田の宮の宿まで売りに行ってみようと思立ちます。しかし、電場には焼き上がったほうろくが20枚しかありません。これでは天秤棒の片方の荷物分です。釣り合いがとれるよう、何か片方の荷物になるような重さの物はないかと辺りを探すと、ちょうど電場の前の道端に2尺ほどの石のお地蔵さまが横倒しになったまま置いてありました。「お地蔵さま、今日一日だけ辛抱してください」と、縄でくくってそれを天秤棒の片方の荷にすると、予想通り、重さはちょうどぴったりでした。

宮の宿まで歩いて半日ほど。東海道を歩いてお昼頃には宮の宿の入口に到着しました。伝馬町の西はずれの空地でほうろくを並べて店開きました。お地蔵さまのおかげか、ほうろくが飛ぶように売れ、1時間あまりで後1枚だけに。「ありがたうございます。お地蔵さまのおかげで大繁盛でした」と感謝して帰り支度を始めます。ところが、はたと困ったのがお地蔵さまのことで、帰りは背中におんぶして帰ろうかと思いましたが、紐の持ち合わせがありません。

「お地蔵さま、2、3日経ったら、きつとお迎えに参りますから」と、残った1枚のほうろくをお地蔵さまの頭に被せて雨がからかれないようにして、その日は帰ることにしたのです。

### ほうろく地蔵とヘルメス

### 間をとりもつのが共通点

太助は、それから3日目に約東通りお地蔵さまを迎えに行きました。お地蔵さまを動かそうとすると、どうしたことか、まるで根が生えたようにビクともしません。「ひょっとしたらお地蔵さまが人通りの多いこの町が気に入られて、動きたくないと思っただけなのかもしれない」と思い、お地蔵さまの前にお花を供えて、そのまま帰りました。

それから、伝馬町の人々もこのほうろくを被った地蔵のことをいつの間にか「ほうろく地蔵」と呼ぶようになり、お花や線香をお供えるようになりました。東海道を旅する人々も、このほうろく地蔵の前を通る時は、決まって両手を合わせて、旅の安全を祈願しました。とりわけ秋には野分と呼ばれる強風が吹くことが多く、ほうろく地蔵が旅の無事を見守ってくれたことでしょう。ちなみに、今祀られている地蔵は、ほうろくを被っていませんが、地蔵の前にほうろくを形どったオブジェが供えられています。

お地蔵さまが「商売の神様」となったという話ですが、ギリシャ神話で商売の神様といえばヘルメス。ゼウスとマイア（アトラスの娘）の息子・ヘルメスは、生まれたその日にアポロンの牛を盗んだほどの早熟者。牛を盗んだついでに、

亀の甲羅に牛の腸を張って堅琴を発明します。アポロンはこの堅琴の音に感動して、ヘルメスが牛を盗んだことを許すかわりに、堅琴を譲ってもらいます。

ズル賢いヘルメスは、それ以来アポロンと親友になったといえます。この交渉の上手さが商売の神様といわれる所以ですが、俊足機敏で伝令の神様ともなっていて、ゼウスの伝令としてことあるごとに大活躍します。また、旅行の神様としても有名で、あまりに機転がきくことから、泥棒の神様にもなっています。ちなみにヘルメスは、ローマ神話ではマーキュリーにあたり、水星という意味もあります。太陽系の第一惑星・水星はたった88日で太陽の周りを1周することから、ヘルメスのように「俊敏な惑星」ということで命名されたのです。ヘルメスはギリシャ神話では主人公ではなく、いつも脇役的存在。とはいえ、ペルセウスのメューサ退治を援助したり、ゼウスの命令で百眼怪人アルゴスを退治したりと神話の大切なカギを握る名脇役です。

商売、伝令、旅行、泥棒。一見関係ないように思われますが、共通点は「間をとりもつ」ということ。どつり構えて動かないほうろく地蔵。片や俊敏に飛び回るヘルメス。日本の伝説とギリシャ神話ではキャラクターは随分違いますが、どちらも間をとりもつことでみんなを幸せにする守り神なのです。



▲ほうろく地蔵が祀られている地蔵堂。地蔵の前に、ほうろくを形どったオブジェが供えられている。



今回は、「東海道の道標伝説」をお送りします。お楽しみに。

■写真/Kiyoshi K ■イラスト/Rei ■取材・文/Icarus